

～復活!!「父母懇忘年会」～

新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止が続いていた東海父母懇事務局主催による忘年会ですが、行動制限が解除された2023年、ついに復活いたしました。

今号では、日頃の皆さまの父母懇活動へのご協力に感謝すべく、盛りだくさんな企画が用意された忘年会当日の様子をお届けします。



【まずは受付へ】

12月9日(土)、小春日の暖かい日、伏見にあるコートヤード・バイ・マリオット名古屋で忘年会が4年ぶりに開催され、132名の方が参加してくださいました。



12時30分に受付が始まると、参加者の皆さまは少し緊張された面持ちで会場へ入ってこられていま



ましたが、他の参加者の方とお話されているうちに笑顔になられていました。席に置いてある席次表をご覧になっているうちに、開始時刻がやってきました。

【音楽の調べ♪】

はじめは、鈴木健司先生と日本舞踊家で東海学園大学非常勤講師の藤間勘萃先生による、歌と中世の楽器リュート



演奏です。声楽家でもある鈴木先生の素敵なお声とリュートによる上品で繊細な音色のハーモニー、曲は「come again, sweet love doth now invite」と「White Christmas」。2曲とも聴き惚れ、一足早いクリスマスを感じることができました。



【「かんぱ〜い!」】

武田父母代表、笠行教員代表による挨拶のあとには稲森教頭の乾杯です。4年ぶりの忘年会での乾杯とあって感慨もひとしおです。

乾杯の後は参加された先生の紹介へと続きます。



【ゲームタイムへ】

最初のお楽しみイベントはテーブル対抗「あたまおしりゲーム」です。あたまとおしりの文字を聞いて、できるだけ長い言葉を作るゲームです。ゲームの間、先生方がマリオとルイージに扮し答えの判定をしたり、サンタやクリスマスツリーになられ会場内を歩いたり、アットホームな雰囲気になりました。予想以上に長い答えにも会場が沸きました。



【おいしいお料理とおしゃべりタイム♡】

歓談タイムはおいしいお料理と、先生やご友人とのおしゃべりを楽しんでいただきました。



【お待ちかね?!シークレットステージ☆】

会のラストは宮川先生、杉浦先生、紺野先生によるショータイムです。3名の先生が練習に練習を重ねた歌と踊りを披露してくださいました。キラキラの衣装とメイク、キレイのダンス、まさに本物のアイドルのライブを見ているようでした。



先生方の意外な一面に驚き、また多才で多彩なショーに圧倒されつつも、推しうちやペンライトでの応援するうちに会場内のボルテージは最高潮に達しました。曲が終わり先生方がステージを去ると、会場からはアンコールが沸き起こり、もう一曲披露となりました。曲の間には本日のステージへ向けての準備の様子がスライドで流れ、こちらも好評でした。



【2024年もよろしくお祈りします!】

参加して下さった皆さま、ありがとうございました。慌ただしい日常を忘れ楽しいひとときを過ごしてただけていたら幸いです。また興味を持ってくださいました皆さま、次回お会いできることを楽しみにしております。

～第3回文化講座ご報告

『有松絞りを体験しよう』～

1月27日(土)、第3回文化講座を開催しました。今年度最後を締めくくる今回は、東海中学美術教員の山田英二先生のご指導のもと、古から日本人に愛されてきた有松絞りを体験していただきました。

【講師紹介】



山田英二先生



中学時代の教師に影響を受け、美術を始められました。油絵を専攻していた大学在学中に木口木版と出会い、現在は木口木版を中心に創作活動を続けられています。

【講座の様子】

山田英二先生のご挨拶の後、授業で子どもたちが制作した作品を、スライドを使って紹介していただきました。中高生とは思えないセンスの光る精巧な作品に感嘆の声が上がる中、ひとつずつ丁寧に解説をして下さり、和やかな雰囲気に包まれたところで有松絞り体験は始まりました。



今回用意されていたのは、板締め絞り・雪花絞り・巻き上げ絞り・村雲絞りの4種類。輪ゴムやビー玉、塩ビパイプ、割

り箸を使って、思い思いに絞り模様を作りました。

初めての方がほとんどというお話でしたが、完成度の高い作品が次々と出来上がり、美術室は笑顔で溢れました。



【山田先生へインタビュー】

～体験講座を終えて～

「昨年の記念祭において、中学1年生では作品展をしていて、私のクラスでは生徒に作らせた有松絞りも展示しました。それが笠行先生の目に止まり、有松絞りの文化講座を開いてくれないかと依頼があり、お引き受けいたしました。当日は講座に来てくれた保護者の方が楽しく制作する姿を見る事ができ良かったです。本当にありがとうございました。」

～美術を通して東海の生徒に求めるもの～

「美術の授業については、1学期ごとに1つの作品を制作していきます。生徒数が多く、作品を保管する場所に限りがあるた



め、あまり大きな作品はできませんが、絵画だけではなく、彫刻など幅広く授業をすることで、美術の面白さや奥の深さを知ってもらえたらと思っています。」

山田先生、素敵な時間をありがとうございました！

【今後の文化講座もお楽しみに!】

参加して下さった皆様、出来上がった作品をご家族に見せた時の反応はいかがでしたでしょうか。

多才で個性豊かな先生方のご協力と、父母の笑顔で繋がる東海父母懇。文化講座では忙しい日常から少し抜け出し、日頃の労をねぎらうお手伝いが出来たら嬉しく思います。

来年度も楽しい企画をご用意して、たくさんの方のご参加をお待ちしています。1年間、本当にありがとうございました。

編集後記

忘年会では、私も幹事の一人として参加させていただきました。4年ぶりの開催とあって、手探り状態の準備期間でしたが、40歳をとうに過ぎた今になって「文化祭実行委員」を任されたような、懐かしい気分を味わうことができました。息子の東海生活を見守る日々の中で、このような青春の再体験ができたことに感謝しています。

2024年の12月も、皆さんと乾杯ができますように。

広報部